

今後の地域の児童館等のあり方検討 ワーキンググループの設置について (改正案)

策定 平成29年2月10日

一部改正 平成29年11月●●日

1 設置の趣旨

「児童館ガイドライン」が平成23年に定められ5年が経過し、この間、これまで先駆的な遊びのプログラム（約500種類）を開発し、全国の児童館等に情報提供するなどの役割を果たしてきた「こどもの城」が平成27年3月末に完全閉館したことや、子どもの貧困、児童虐待、中高生の居場所確保等新たな問題への対応など児童館を取り巻く環境が変化してきており、ガイドラインの見直しなど今後の地域の児童館等のあり方を検討する必要がある。

今後の地域の児童館等のあり方を検討し、児童館運営の指針となる「児童館ガイドライン」の見直しなどを専門的な見地から検討を行うため、「遊びのプログラム等に関する専門委員会」（以下、「本委員会」という。）の下にワーキンググループを設置する。

2 構成等

- (1) ワーキンググループの構成員は、本委員会の委員及び外部有識者等から委員長が指名する。
- (2) ワーキンググループの検討状況を本委員会に随時報告するとともに、検討結果を本委員会に報告する。
- (3) ワーキンググループは、委員長が必要があると認めるときは、関係者の参加を求めることができる。なお、委員長にあっては必要に応じて参加することができる。
- (4) ワーキンググループの庶務は、厚生労働省子ども家庭局子育て支援課において処理する。

3 主な検討事項

- (1) 今後の地域の児童館等のあり方について
- (2) 「児童館ガイドライン」の見直し
- (3) その他

4 その他

会議は、原則公開とする。

今後の地域の児童館等のあり方検討
ワーキンググループ構成員

(五十音順・敬称略)

【専門委員】

氏名	所属
植木 信一	新潟県立大学 人間生活学部子ども学科 教授
中川 一良	社会福祉法人健光園 京都市北白川児童館 館長

【外部有識者】

氏名	所属
安部 芳絵	工学院大学 教育推進機構教職課程科 准教授
斉藤 朋行	東久留米市中央児童館 館長
柳澤 邦夫	栃木県 上三川町立上三川小学校 校長

(参考)

社会保障審議会児童部会
「遊びのプログラム等に関する専門委員会」の設置について

1. 設置の趣旨

昭和 60 年に国が設置した「こどもの城」(平成 27 年 3 月末に完全閉館)は、これまで、先駆的な遊びのプログラム(約 500 種類)を開発し、来館した子どもたちに提供するほか、全国の児童館等に情報提供するなどの役割を果たしてきたところである。

こうした約 30 年にわたり蓄積されてきた遊びのプログラムや「こどもの城」が果たしてきた機能及び役割については、今後も国が引き継ぎ、遊びのプログラムの全国的な普及啓発や新たなプログラムの開発、今後の地域の児童館等のあり方などを検討するため、社会保障審議会児童部会の下に「遊びのプログラム等に関する専門委員会」(以下「専門委員会」という。)を設置する。

2. 構成等

- (1) 専門委員会委員は、別紙のとおりとする。
- (2) 専門委員会には委員長を置く。
- (3) 専門委員会は、委員長が必要があると認めるときは、関係者の参加を求めることができる。
- (4) 専門委員会の庶務は、厚生労働省子ども家庭局子育て支援課において処理する。

3. 主な検討事項

- (1) 「こどもの城」が開発した遊びのプログラム等の分析及び評価について
- (2) 新たなプログラムの開発について
- (3) 今後の地域の児童館等のあり方について
- (4) その他

4. その他

委員会は、原則公開とする。

社会保障審議会児童部会
「遊びのプログラム等に関する専門委員会」委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏名	所属
植木 信一	新潟県立大学人間生活学部子ども学科 教授
大塚 晃	上智大学総合人間科学部社会福祉学科 教授
北島 尚志	NPO法人あそび環境 Museum アフタフ・バーバン 理事長
佐野 真一	港区立麻布子ども中高生プラザ 館長
鈴木 一光	一般財団法人児童健全育成推進財団 理事長
高松 絵里子	北海道中標津町役場町民生活部 子育て支援室長
中川 一良	社会福祉法人健光園 京都市北白川児童館 館長
羽崎 泰男	一般社団法人鬼ごっこ協会 代表理事
松田 妙子	NPO法人せたがや子育てネット 代表理事
吉村 温子	玉川大学 非常勤講師

(平成29年5月現在)